



議会だより

発行：八郎潟町議会 編集：議会広報編集委員会

〒018-1692 秋田県南秋田郡八郎潟町字大道80 TEL 018-875-5810

6月定例会



小学校運動会

目次

2	6月定例会／全員協議会／臨時会
3～10	一般質問
11	各常任委員会
12	組合議会報告
13	6月定例会提出議案等結果報告／陳情
14	令和7年度 町村議会議長・副議長研修会 議会のうごき／編集後記

6月定例会

6月定例会は、6月9日(月)から12日(木)までの4日間にわたり、開かれました。一般質問は7名、審議した議案は、条例改正議案3件、補正予算関係議案3件、繰越計算書報告2件、人事案件議案1件、債権放棄報告1件、専決処分報告1件でいずれも原案通り可決、加えて陳情3件も全会一致で承認されました。

令和7年度 一般会計補正予算 (第1号)

歳入・歳出にそれぞれ**3億479万9千円**を追加し、
歳入・歳出予算の総額を**35億9,823万9千円**としております。

歳入

◇物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	3,365万円
◇減債基金繰入金	2億5,015万5千円
◇前年度繰越金	984万4千円

歳出

◇重点支援地方交付金 (定額減税不足額給付)	3,234万4千円
◇老人福祉センターLED照明リース料	44万5千円
◇妊婦支援給付金	130万円
◇夢ある園芸産地創造事業費補助金	101万7千円
◇公共下水道事業会計補助金	163万3千円
◇繰上償還元金	2億5,015万5千円

《主なもの》

議決された条例の内容 (3議案)

【3議案とも八郎潟町職員の待遇改善に関する件名】

◇一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正

→県の一般職の給与に関する条例改正に伴う措置

◇職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正

→法改正に伴う措置

◇職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部を改正

→過失による交通事故に係る罪により拘禁刑以上の刑に処せられ、その刑の全部の執行を猶予された職員について情状を考慮して特に必要があると認めるときは、その職を失わないものとして定めることができる規定を設けたこと

議会全員協議会

令和7年6月3日開催

《協議案件》

◇6月定例会に提出する議案の主な内容について

◇男鹿・湖東地区消防広域化に関する協議報告について

男鹿地区消防本部と湖東地区消防本部の消防広域化に向けた協議の検討調整の状況についての中間報告

第3回 臨時会

令和7年4月30日開催

承認第1号 令和6年度八郎潟町一般会計補正予算(第11号)の専決処分の承認を求めることについて

承認第2号 令和6年度八郎潟町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)の専決処分の承認を求めることについて

承認第3号 八郎潟町町税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて

承認第4号 八郎潟町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて

議案第32号 財産の取得について(可搬式排水ポンプ購入) ▶▶**全員賛成**

報告第1号 損害賠償の額の決定及び和解に関する専決処分の報告について



6月定例会 一般質問

7議員が町政に対し質問

6月10日の本会議において一般質問が行われ、7議員が質問を行いました。以下、質問・答弁の内容を要約してお伝えします。

◆ 質問者

小柳 聡 議員 (一問一答)

- 1、高齢者を孤立させない支援を
- 2、クマ対策は
- 3、ふるさと納税返礼品で米強化を

京極 幸村 議員 (一問一答)

- 1、秋田県知事選挙について
- 2、企業誘致の現状と今後は
- 3、移動販売の導入について
- 4、老朽化著しい第二町民体育館について

小林 響騎 議員 (一括質問)

- 1、行政と議会の情報共有と対話の仕組みについて

村井 智 議員 (一問一答)

- 1、令和7年度予算について税収が前年比150%について
- 2、上記について町長の今後の施策方針について
- 3、町上水道の敷設世帯数と簡易水道の世帯数についてと以前の町水道の水源であった地下水の現状
- 4、災害、事故等による水道配水不能事態への対処方針について
- 5、上記について町長の今後の方針について

松田真寿美 議員 (一問一答)

- 1、第6次八郎潟町総合計画の振り返り

伊藤 章 議員 (一括質問)

- 1、本町地区の馬場目川維持修繕工事の実施計画等について
- 2、脱炭素地域創出促進事業の進捗状況について

小野 千春 議員 (一括質問)

- 1、防災に備え女性消防団員確保
- 2、生涯学習と所得向上の企業誘致
- 3、デジタル公共財を駅前



お詫びと訂正

令和7年4月1日発行 はちろうがた・議会だより 第163号【3月定例会】の5ページ目 議案第26号 反対討論は、「村井 智議員」とあるのは、正しくは「京極幸村議員」でした。お詫びして訂正いたします。

一般質問とは

一括質問一括答弁方式の場合、質疑は特別な場合を除き3回を超えることができない。一問一答方式の場合はこの規程は適用しない。

また、延会、中止、又は休憩のため発言が中断したときは、会議の再開により前の発言を続けることができる。

一 般 質 問

高齢者を孤立させない支援を



おやなぎ さとし
小柳 聡
議員

一人暮らしの世帯や地域との関わりが少ないターゲット層に対して新たなコミュニティを設けることが可能になれば本当の意味で高齢者が暮らしやすい町づくりになっていくと考える。

町長 今年度から地域住民と様々なサービスを結びつけるパイプ役として、地域生活支援コーディネーターを新たに一人採用し、地域のサロン作り等を行うことにしている。地域に出向き各地区でサロンなどを開催し、住民ボランティアの育成や地域に不足するサービスの創出、高齢者が担い手として活動する場

の確保等、地域の課題解決のために地域の資源創りを行います。いずれは全町内毎にサロンを立ち上げ通える場を作り、仲間づくり、孤立・閉じこもりの防止、災害時の防災力向上、地域の福祉力向上、健康づくり、身近なボランティア活動を推進し、行政主導でなく住民主体の自主運営を目指しております。

現実的に地域での見守りを進めていくことはご時世的に難しいかもしれません。

一方で孤独死を不安に感じている高齢者はいます。

一人暮らしの方を対象にIoT技術を活用した見守りサービスの助成を検討出来ないか。

町長 令和6年度より民間と契約し緊急通報システム事業を実施している。緊急時に自宅にある緊急通報装置の緊急ボタンを押すことにより、民間のガードセンターに繋がり24時

間365日いつでも助けを求めることができ、五城目町に待機しているガードマンが直接駆けつけます。

ボタン式は緊急時に上手く機能するのか、その利用状況はどうか。

健康福祉課長 利用者数は32名、6年度の発生件数は緊急非常時4件、押し間違いが5件、その他5件であります。

クマ対策は

今年は春先からクマの目撃情報が多くなっています。残念ながら秋田県内でも5月18日に人身被害が発生した。全国的な人身被害件数は4月を例にとると令和7年は11件発生しており一昨年の4件(過去最高タイ記録)と比較しても倍増している。

鳥獣被害防止対策協議会では昨今のクマの出没状況にどのような課題意識を持って

るか。

町長 去る5月26日に鳥獣被害防止対策協議会を開催しました。会議の情報交換では令和5年の出没状況や繁殖の生態等も踏まえると、今年は今クマの出没増加が予想されると話がありました。県内各地の目撃件数が例年を大幅に上回っている事に加え、夏場にかけて出没が増える傾向にあるので出没に備えて参りたい。

被害防止対策では侵入防止柵の整備計画は令和8年度まで「なし」と記載されているが、出没や被害の状況により流動的に増やす



注意看板 (天池林道)

事は可能か。

町長 畑などへの農作物被害等による侵入防止柵の設置について町への相談や要望はないが、今後鳥獣による甚大な農業被害が生じ侵入防止柵の設置を検討している際は、要件をクリアすれば国の交付金を活用出来る場合があります。ご相談いただければ対応します。なおイノシシによる農作物被害があった場合はくくり罾の捕獲許可を既に取得しているの、土地所有者の許可を得られれば速やかに設置が可能となる。

一般質問

秋田県知事選挙について



きょうごく ゆきむら
京極 幸村
議員

問 畠山町長が知事選挙で猿田氏を応援した理由と、鈴木知事との今後の関係について質問しました。

町長 猿田氏が県職員時代に町が大変お世話になったことを理由に挙げました。

具体的には、町長就任時に秋田県から副町長を派遣してもらったことや、県の振興資金の借り入れでお世話になったことを説明しました。

問 猿田氏の政策の中で町長が応援する理由となった具体的な部分について質問しました。

町長 (猿田氏、鈴木知事は) 似たような政策で、鈴木知事への期待として、人口減少対策での連携を挙げました。

企業誘致の現状と今後について

問 企業誘致の現状と今後の方向性について質問しました。

町長 秋田県企業誘致推進協議会を通じて情報交換を行っているものの、具体的なコンタクトを取った企業は過去に1件だと述べました。

今後の企業誘致活動について、引き続き協議会を通じて情報交換を行い、自然災害の少なさや交通の便の良さなどをアピールしていくと述べました。

問 企業誘致以外の雇用創出策について質問しました。

町長 ライノジャパン株式会社との間で脱炭素地域促進事業について検討を進めており、雇用創出を目指す意向を示しました。

問 起業家支援の必要性を指摘し、単純な財政支援ではなく起業家育成プログラムの構築

を提案しました。

町長 起業家支援事業として八郎潟町商店後継事業者支援交付金などを実施していることを説明し、起業希望者に対して商工会と連携して支援していくと述べました。

問 町内の労働力人口のうち、町内で従事している就業者と町外へ通勤している就業者の割合について質問しました。

町長 令和2年の国勢調査によると、町内で従事している就業者割合は約44・5%、町外へ通勤している就業者割合は約55・5%であると回答しました。

問 ベッドタウンに特化して人口を増やすという考え方について質問しました。

町長 ベッドタウンとしての可能性も考慮しつつ、地域内での雇用創生や生活基盤の充実が重要であると回答しました。

移動販売の導入について

問 買い物弱者対策として移動販売の導入を提案しました。

町長 町内では社会福祉協議会やNPO法人などが配食サービスや移動販売を行っていることを説明しました。

また、民間企業のネットスーパーやコンビニエンスストアの配達サービスなども利用されていることを紹介しました。

移動販売事業については、客単価が低いことや天候に左右されやすいことなどから、採算が合わない状況を説明し、導入は困難であるとの認識を示しました。

老朽化著しい第2町民体育館について

問 第2町民体育館の照明不足や雨漏りなど

の問題を指摘し、早期の改善を求めました。

教育長 スポーツ少年団の活動環境基準がない現状を説明しました。スポーツ少年団の活動環境については、学校保健安全法で定められている基準に近づける方がよいと考えています。

第2町民体育館の照度調査の結果、平均値は79・1ルクスであり、最も暗い場所では40ルクスであることを報告しました。

照明のLED化には約1300万円の費用がかかることを示しました。

現状では全面的な改修計画はなく、当面は必要な修繕を行いながら現状を維持する方針であることを説明しました。

問 小中併設校の体育館の共同利用を提案しました。

教育長 関係者の意向を聞きながら調整していくと回答しました。

一 般 質 問

行政と議会の情報共有と
対話の仕組みについて

こばやし ひびき
小林 響騎
議員

私は議会を、行政をただ批判したり評価したりする場ではなく、共に町の将来を考える「協働の場」として育てていきたいと考えています。そのためには、まずはお互いの置かれている現実や感じている課題を、率直に、そして信頼して共有し合える関係性が欠かせないと感じています。条例や予算の審議では、表面的な情報のやり取りはありますが、その奥にある現場の悩み、迷いや葛藤、職員の皆さんの「本音」が見えづらいことが多いです。特に議案が提出されるとき、その文面の背後に

は、きつと悶々とした思いや決断のプロセスがあるはずですが、それらが共有される機会とは限られており、議会としても十分に汲み取ることが難しいのが現実です。私は、そうした「見えない背景」や「判断に至るまでの流れ」こそが、議論の質や相互理解を深めるために必要なものだと考えています。

問 議会に対し、現場の課題や職員の「本音」を共有するうえで、現状の課題や難しさをどう捉えているか。

町長 議案は、町長である私が責任を持って提出するものであり、職員の個人的な意見はあくまでも内部の検討や議論の段階であるべきで、対外的には意思統一された内容で議案

を提出すべきと考えております。

問 議会と行政の間で、制度に縛られず日常的な情報共有を行うことの必要性について、行政としての考えを伺う。

町長 日常的な情報共有の必要性については、行政組織の一体性と責任体制の観点から慎重に取り扱う必要があると考えます。

問 全員協議会や委員会等で審議してる上で、どこか議員側には言えない話、出せない話があるように3月の定例会で感じた。行政側としては議案を提出する以上、可決して欲しいと思うが、可決してもらうのが目的となってしまうと、突っ込まれるであろう話と言えなくなってしまうのか

と思う。そこを前回の定例会で感じた。議員は住民の代表として来ているため、信用して全て共有してもらわないと、こちらとしても思う存分仕事ができない。住民の方にどういうふうにお伝えしているのか分からない部分もあるため、そこら辺も共有して頂きたい。

町長 出せない情報とは何かを理解できません。全て議員の皆様からお聞きしたことは情報として提出しているつもりではございます

けれども、出せない情報とはどういう考えで議員はおっしゃってるんでしょうか。

例えば、3月定例会であった議案25号、カントリーエレベーターの土地の無償貸付の件。あれは、奥に何かがあったように思いました。でも、違うかもしれない。僕が肌感で、そう言ってるだけであって、無いのであれば、無いと思います。



一般質問

町税収見込が前年比150%としたことについて 被災時の水道対応等について



むらい さとし
村井 議員

問 令和7年度税収見込みを前年比、150%としている。これは米価の上昇に機縁するとの説明をされたが、その数字的な根拠、並びに町世帯における農業世帯の比率を説明願いたい。

町長 令和5年JA湖東概算金は12,700円、昨年令和6年概算金19,000円。約150%である。また。農業業者世帯は令和6年、241世帯、約全町の10%にあたる。また、令和7年度は227世帯、9%となります。

問 3月議会で我が町は地理的構造上、排水を殆ど農業施設に依存していることを再確認しております。また、税収面においてもまさしく基幹産業であることが再確認されました。この度の米価上昇は国や社会情勢によるところによると認識しておりますが、いずれ反動も予想されます。農業生産性向上についての町の指針を伺いたい。

町長 農地の集約化を進めていく。また農業機械の更新などについての助成も考えたい。

問 2011年東日本大震災時、電力不通により水道供給不全が数日にわたり続いたが、その教訓から対策はいかにされているか。本年度予算には浄水場に発電用軽油備蓄が盛り

れているが、大規模な震災時には発電機が手配出来ない、そもそも道路網が遮断される、また近隣からの支援も期待出来ないなど想定外を想定しなければならぬ。我が町は以前地下水を水道水としても旧湖東病院の地下水は利用されているなど良質な地下水脈は存在している。今年度排水用の動力ポンプはすでに発注されたがそれらを活用出来ないものか。また、地下水の水道時代の町民数は何人であるか。

町長 東日本震災時、我が町は停電により3日間水道の供給が止まり給水車などが巡回した。東北電力によれば3日間以内に電力復旧ができる見込みとのことであるのでそれに基

づいて策定している。

また、昭和40年我が町の人口は8,379人、1,664世帯であった。

水道事業はこれから管路の更新など事業

費が嵩んでいくことが想定されるが、隠れた資源である良質な地下水などを活用して経費の抑制や災害時の活用などを求めます。



一 般 質 問

第6次八郎潟町総合計画の振り返り



まつだま すみ
松田真寿美
議員

「健康づくり」「児童福祉」について

問 健診の受診率向上のための実際の取組と効果、疾患の早期発見と治療についての施策や計画を伺う。学童保育の利用者増に対してスペースの問題等は解決されているのか。

町長 受診率向上目的に、平成24年から令和3年まで電話による受診勧奨を実施したが、効果継続が得られず通知による受診勧奨に切り替えている。病気の早期発見と治療については、胃内視鏡検診や腹部超音波検診の導入

「循環型社会」について

問 町民への啓発活動の考えを伺う。

町長 ごみ処理広域化により収集等に大きな変化が予想される。広報などで情報発信を行い町民の理解の促進に努める。

「農林漁業」「商工業」「観光」「雇用」について

問 特産品の前期新商品と後期の取組と実

績、農林漁業及び商工業における支援組織と現在の活動状況について伺う。

町長 第6次総合計画の産業観光分野の計画策定については、町民が主体となって町づくり団体を設立すること

も一つの目標とした。準備室を立ち上げ町民座談会を開催し、商店街対策・経済循環対策等を実施していくことになり、これらの趣旨に賛同した町民が主体となりNPO法人はちらほを設立した。当町としては、考え方と活動を後押しし協働の町づくりを進めるため産業観光分野にははちらほの考え方を色濃く反映した計画になった。

問 「子供への体験学習」の項目が削除されているが、終了の理由を伺う。

町長 産業部門の雇用の子供への体験学習の推進は、はちらほでは事業を普遍化することができず後期計画では削除した。教育部門の学校教育にキャリア教育の一環として体験的学習が組み込まれている。

り一つの目標とした。準備室を立ち上げ町民座談会を開催し、商店街対策・経済循環対策等を実施していくことになり、これらの趣旨に賛同した町民が主体となりNPO法人はちらほを設立した。当町としては、考え方と活動を後押しし協働の町づくりを進めるため産業観光分野にははちらほの考え方を色濃く反映した計画になった。

3月の定例会でも様々な議論があったが、今後の「まちづくり活動センター」の運営及び利活用方法については町民が納得できるように、再度精査し検討の必要性も感じる。

問 町に宿泊した観光客数120人の目標値の試算を伺う。

町長 観光における宿泊客数は農家民宿や空き家改修による宿泊所の設置を議論したが、はちらほが宿泊事業に着手することができなかった。今後宿泊業を営もうとする方には、起業者支援制度や店舗改修制度などで支援する。

◎本町の抱えている人口社会減と自然減・少子高齢化・脱炭素など課題は多岐にわたる。「計画策定審議会委員」には、有識者のほか八郎潟町を担う若い世代・現在の子育て世代の参画も必要と思う。若い世代の意見や要望に傾聴しプラスの発想や気づきを大事にして10年後の将来像をお示しただくことを期待する。

一般質問

本町地域の馬場目川維持 修繕工事の実施計画等について



あきら 伊藤 議員

問 令和5年7月14日の記録的大雨で馬場目川の氾濫や内水浸水により、町民1人が犠牲となり、また、5・26・29区の住宅等が床上浸水8棟、床下浸水19棟、水稻等も被害に遭っています。被災地域の皆さんは、この時期になりますと再び馬場目川の氾濫や内水浸水が発生しないか、不安を抱きながら日々生活を送っていると思います。

一方、馬場目川の「維持修繕工事」が五城目地域から実施されていますが、本町地域の工事計画等の状況について、1点目は工事時期、工事区間等、2点目は河道掘削や雑木伐木処理等の工事内容、3点目は未計画の場合の要望活動等について伺います。

町長 秋田県では、限的措置である緊急浚渫推進事業として河道確保の工事を令和2～6年度まで実施していますが、令和5年の大雨災害を受け、この事業の期間延長を国に要望したところ、このほど環境維持修繕工事に着手したと県から連絡がありました。

本町地域での工事区間は、高速道路から五城目高校手前までの両岸において、雑木の伐採工事を11月下旬まで工事を行います。町では以前から河口までの伐木を含めた河道掘削を県に要望しており、県では「毎年要望を受けているため状況を注視

し、国からの予算配分に応じて対応していきたい」と伺っております。

【要望】国、県へ河道掘削工事等も含め粘り強く今後とも要請して下さい。

問 2050年まで温室効果ガスの排出を実質ゼロとする脱炭素社会に向けて、本町の脱炭素社会の実現と産業振興、農業所得の向上を目指すため、昨年12月10日「八郎潟町脱炭素推進協議会」が発足しましたが、この半年間でどのような内容を協議したのか、進捗状況等について伺います。

また、この事業の実施にあたっては、非常に影響度が高い事業なので地域住民はじめ町民の理解が欠かせませんので、事業の方向性が決まり次第、何らかの形で説明会を開催して頂きたい。

町長 脱炭素地域創出促進事業につきましては、昨年12月10日に東京都の「ライノジャパン株式会社」と業務委託契約を締結し、脱炭素と産業振興を目的とした各種事業について調査・検討を重ねています。また、この事業の取り組みを契機に産業の振興、地域課題の解決などを協議するため、1月9日に第1回「八郎潟町脱炭素推進協議会」を開催し、旧八郎潟小学校校舎、周辺敷地及び大道町有地などを活用した各種事業などについて協議しています。各委員からの意見を踏まえ、各種事業については「今年度または来年度に実施可能な事業」「採算性の高い事業」「もみ殻を活用した事業」の3つの観点や複数の提案事業の中から、町として実施予定事業を絞り込み、イニシャルコスト、採算性、持続可能性、資金の用途、問題点など調査・検討し、その結果については、8月までに第2回協議会を開催し協議内容・決定事項等を説明します。なお、伊藤議員ご要望の地域住民への説明は事業が具体化した後に説明会を開催します。



一 般 質 問

防災に備え女性消防団の確保



おの ちはる
小野 千春
議員

問 ここ数年全国的異常気象により災害が頻発。当町でも2年前大雨により馬場目川周辺住民が被害を受けた。このような災害時、町の消防署はもとより町消防団に頼るところは極めて大きい。しかし現在当町の消防団員数は条例定数75人に対し58人。団員不足解消のため広報等で募集は行われているが確保は難しい。

また、男鹿・湖東消防署の消防広域化の流れがあり、八郎潟の消防署が井川町本署と10年先統合する可能性も見据える必要がある。しかし一方で当町は歴史的に一日市から面瀬は参勤交代の街道沿いに家々が連なり立っており、そのため大火を数度経験している。現在も季節、風向きによって注意が必要で

町中に消防署が位置しているのは大変心強い。

他町村を調べたところ五城目町、井川町、潟上市では20〜50代まで幅広い世代が女性消防団員として在籍、活躍している。後方支援的役割の他、応急手当普及員、応急手当指導員として講習認定を受け消防署員と共に中学校でAED等応急手当の講習指導にあたっている。応急手当の一分遅れは8%生存率を低下させる。といわれている。

消防団員不足を迅速に解消し町民の尊い命を守る為にも女性消防団員及び機別消防団員導入募集検討をお願いします。

町長 ご検討いたします。

生涯学習と所得向上の企業誘致

問 現代のデジタル化、自動化の進展に伴いデータ分析、AIスキルを持つ専門家の需要が増加。厚生労働省

は先端IT人材の需要を見越して給付金制度を設け、人材の育成・リスキングをサポートしている。

しかし実際、八郎潟町に在住しより多くの個人がこの制度を活用しリモートワークを行うまでには垣根を低くする手助けが必要と考える。

そこでこれまで企業誘致は製造業等、工場建設、設備等、立地場所、費用等大がかりだったが、もしプロگرامミングの仕事一部を誘致することが出来るなら、八郎潟町においてリモートワークが可能。プログラミング言語は進歩するので改修が必要。テストデータを送ったりバグの修正を行う初級プログラマー育成と企業の業務誘致とを組み合わせ整備補助金を検討いただきたい。

国の補助金が活用出来るうちに整備されれば、若者の雇用創出のみならず、中堅者のR&Dも可能。自社S&Eを教育する環境、人材を備えている企業へトップセールス

デジタル公共財を駅前

問 地域未来投資促進法が成立、国は税負担軽減、地方創生推進交付金の重点的支援を整備。県はこの先高齢化や過疎、地方の医師不足による医療の不足をデジタル田園都市国家構想交付金を活用支援、秋田県が目指す「健康寿命日本一」の実現に向け県内、県外企業等協業による新たなヘルスケアサービスの創出を促進。当町も促進地域に含まれている。

新たなヘルスケア事

業を創造創出し、オリンピック選手や野球選手を輩出した知名度、特色も生かすかたちで、町民の健康寿命を維持、延ばす拠点を駅前あたりに作り町の課題解決の一助をご検討いただきたい。

具体的にはオンラインで健康診断、ヘルスケアサービスが受けられ、検診専門クリニックとしての役割を担う。感染者が居ないため長時間滞在が可能。通常の病院と差別化、健康な個人のデータを集積。ホテルのロビーのような待合室で利用者が集い、ホスピタリティある快適空間を提供。未病者の積極的受診助長、データ集積により治療、介護が必要な時、病院、施設へ橋渡しがスムーズ。デジタル医療が可能な公共財についての見解。

町長 湖東厚生病院、身近な医院、早朝検診も実施、訪問診療もあり医療体制は充実。新たにバイタルネットと健康増進に関する連携協定を締結。現状では考えていない。

各常任委員会の審議

総務産業 常任委員会

- 補正予算 3件
- 条例改正 3件
- 陳情 2件



◆ 補正予算

問 地方就職支援金の交通費は、県内の企業を受験する時点で助成されるのか(県1/2、町1/2 交通費上限17,220円助成)

答 県内企業を受験したのみは支給されず、企業への就職内定等が要件になります。

問 浄水場高圧気中開閉器(落雷等による設備保護装置)の更新工事に関して、該当機器に被害が発生した場合の影響範囲はどのくらいになるか。

答 浄水場近くの34

◆ 条例改正

区周辺になります。

問 議案第35号について、情状を考慮して特に必要があると認めるときは、その職を失わないものとするができる、と規定を設けるとのことであるが、特に必要があると認める時とは具体的にどういう場合か。

答 例えば、交通事故で歩行者を撥ねて死亡させてしまった時、運転手が十分な注意を払っていたにもかかわらず、自殺目的で意図的に飛び出したことによる場合などが想定されます。

教育民生 常任委員会

- 補正予算議案 1件
- 陳情 1件

◆ 一般会計補正予算

問 老人福祉センターのLED照明リース契約期間中に雷等で故障した場合の対応は、またリース契約の方が低額なのか。

答 自然災害の場合には町加入の保険で対応し、試算では10年間リース契約で404万4千円。公共施設工事の場合は725万7千円のため比較してリース契約にしました。

問 弁天荘のカーテンの取替えは全部か。予算4万円で済むのか。

答 経年劣化のため予算内で全部取替える予定です。なお、寿山荘も取替えております。

問 ごみ処理広域化中継施設の視察についてどのような形で行うか。

答 中継施設は潟上市と八郎湖周辺清掃事務組合構成5市町村で設置しますが、男鹿市から同規模施設の視察提案があり、6市町村合同で神奈川県大磯町美化センター、千葉県松戸市中継施設を視察する予定です。

問 えきまえ交流会の記念講演と演奏会を同時に行うのか、講師は県内か、謝礼の内訳及び昼食代2万4千円の内容を伺います。

答 県内の講師を招



請して10月に記念講演、12月に演奏会を予定しています。昼食代は講師1名、演奏者25名で計上、謝礼は記念講演3万円、演奏会3万円です。

常任委員会視察

当委員会は八郎潟小中学校、学童保育場所(中央児童館)、八郎潟たいようこども園の施設・設備状況を把握するため視察しました。

組合議会報告

八郎潟町・井川町衛生処理施設組合議会

小柳 鉄秀 議員（報告者）
伊藤 章 議員・京極 幸村 議員

去る3月21日、八郎潟町庁舎3階第一委員会室において令和7年八郎潟町・井川町衛生処理施設組合議会3月定例会が開催されました。

はじめに、八郎潟町選出の組合議員改選に伴い、副議長には伊藤章議員が選出されました。

次に、令和6年度一般会計補正予算（第2号）の歳入では、前年度繰越金に293万6千円の追加、五城目町からの汚泥処理受託の減により343万円の更生を行っております。歳出では、財政調整基金積立金に163万円の追加、施設管理費219万円の更生を行っております。

次に、令和7年度一般会計予算については、歳入歳出が、

360万2千円となり前年度比8・1%の減額となっております。歳入では、両町の負担金が2,170万7千円、五城目町から

湖東地区一部事務組合議会

野原 静雄 議員（報告者）
小林 響騎 議員・松田真寿美 議員

去る令和7年3月26日（水）湖東地区消防本部会議室において令和7年第1回湖東地区事務組合定例議会が開催されました。

続いて、管理者報告（井川町齋藤多聞町長）、消防長報告（齊藤直樹消防長）の報告の後、一般質問（質問者

の受託事業収入が3,123万1千円です。歳出では、一般管理費の人件費等に833万6千円、財政調整基金積立金900万円を計上、施設管理費では、消耗品費・光熱水費等に1,042万6千円、各種機器保守管理委託料1,559万4千円を計上しております。

無し）に続いての議案審議は第1号から第4号まで、湖東地区行政一部事務組合職員に対する、給与、勤務時間、育児休業及び分限に関するもので県人事委員会の勧告（1号議案）、法改正（2・3号議案）及び交通事故の過失による失職に情状の特例を設ける改正です。

続いて一般会計予算（第7号議案）では、下記の表のとおり原案を全会一致で議決しました。

八郎潟周辺清掃事務組合議会

村井 智 議員
小野 千春 議員（報告者）

令和7年3月21日八郎潟周辺クリーンセンターにて八郎潟周辺事務組合議会3月定例会が開催、「令和7年度一般会計予算」「監査委員の選任」について審議が行われました。

「令和7年度一般会計予算」については歳入歳出予算総額7億115万5,000円と修繕計画の大幅な見直しに伴い増額となった。背景として施設稼働18年目を迎え設備機

器、特に熱回収及びびりサイクル施設の設備機器の劣化が激しく修繕計画見直しの必要性があった。また10年後令和17年からの秋田市・潟上市・本組合市町村での「ごみ処理の広域化」が始まるため現施設の大規模修繕は行わず、令和16年まで使用出来るよう保守点検、修繕が行われることになった。

具体的には令和7年から令和9年の間で修繕を行うため修繕料が関連する衛生費は6億7,429万5,000円と前年度比1億5,136万5,000円の増となった。この大部分は歳入の市町村から納付の分担金・負担金であり、6億6,206万6,000円、当初計画予算（令和2年計画予算）より1億5,542万2,000円の増となった。

尚、議員選出監査委員に井川町伊藤一彦議員、佐々木秀樹様（大潟村）が選出された。

令和7年度一般会計予算

歳入、歳出とも297,297千円減額となりました

歳入	754,771千円	対前年	△97,297千円
組合債	△173,599千円		

歳出	754,771千円	対前年	△97,297千円
前年「救助工作車」導入などあり、減額			

消防長報告から

令和6年1月1日～12月31日までの実績から抜粋

火災	9件	内 八郎潟町1件 (車両火災)
救急出動	1,034件	ドクターヘリ：10件 ドクターカー：2件 搬送人員：963人
搬送割合	—	急病：68.8% 一般負傷：17.0% 交通事故：6.4% 転院搬送：6.2%、他

※その他、令和7年2月26日発生の「岩手県大船渡市林野火災の緊急消防援助」に消防車両：5台、指揮車両：2台、派遣職員：延べ42人（3月16日まで）を派遣

令和7年 八郎潟町議会6月定例会提出議案等 提出議案結果報告

議案番号	審議案件	結果
議案第33号	八郎潟町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成
議案第34号	八郎潟町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成
議案第35号	八郎潟町職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成
議案第36号	令和7年度八郎潟町一般会計補正予算（第1号）について	全員賛成
議案第37号	令和7年度八郎潟町水道事業会計補正予算（第1号）について	全員賛成
議案第38号	令和7年度八郎潟町公共下水道事業会計補正予算（第1号）について	全員賛成
議案第39号	八郎潟町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	全員賛成
報告第2号	令和6年度八郎潟町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	
報告第3号	令和6年度八郎潟町公共下水道事業会計繰越計算書の報告について	
報告第4号	令和6年度に放棄した私債権等の報告について（水道料金）	
報告第5号	損害賠償の額の決定及び和解に関する専決処分報告について	

■陳情

受理番号	受理年月日	件名	住所	氏名	件名	本会議結果	付託委員会
6	令和7年5月12日	陳情	秋田県 秋田市	秋田県教職員組合 執行委員長 小林久美子	ゆたかな学びの実現及び教職員定数改善並びに義務教育費国庫負担割合引き上げをはかるための、2026年度政府予算に係る意見書採択の陳情について	採択	教育民生
7	令和7年5月12日	陳情	秋田県 男鹿市	連合秋田男鹿潟上南秋地区連絡会 議長 太田 修	地方財政の充実・強化を求める意見書提出に関する陳情	採択	総務産業
8	令和7年5月12日	陳情	秋田県 秋田市	再審法の改正をめざす秋田の会 筆頭代表 有働 悠一	再審法改正（刑事訴訟法の一部改正）の意見書の採択を求める陳情書	採択	総務産業

▶議長交際費の支出状況（4月～6月）

◎議長が交際費に要した経費の概要をお知らせします。

分類	件数	金額(円)	内 訳
その他	6	24,600	湖東地区保護司会通常総会 秋田県町村議会議長会理事会 令和7年度湖東3町商工会通常総代会 八郎潟町芸術文化協会総会 八郎潟町スポーツ協会評議委員会 八郎潟町婦人会総会
計	6	24,600	



令和7年度 町村議会議長・副議長研修会

令和7年5月27日、令和7年度 町村議会議長・副議長研修会が東京国際フォーラムに於いて開催されました。

研修会には全国から約2,000人の町村議長・副議長が参加しておりました。議員として災害への向き合い方、どのように対応するか、どのような準備をすべきかなど、防災をテーマに学びの多い研修となりました。

研修会の内容

- 《講義1》 広域災害対応を含めた自治体の災害対応強化に不可欠な「防災DX」
内閣府政策統括官 高橋 健司 → 付参事官 松本真太郎
※国会対応により講師変更となりました。
- 《講義2》 平成からの災害に学ぶ復旧・復興まちづくりの課題
—自治体実務の立場から— 明治大学名誉教授 青山 侑
- 《講義3》 災害と議会・議員の役割 同志社大学名誉教授 新川 達郎

議会のうごき

4月

- 9日 小学校入学式
中学校入学式
- 18日 例月出納検査 (監査委員)
- 23日 潟上湖東地区保護司会通常総会(議長)
- 25日 老人クラブ連合会総会 (議長)
- 30日 第3回臨時会

- 19日 例月出納検査 (監査委員)
- 20日 秋田県町村議長会理事会 (議長)
- 22日 第26回秋田県町村等監査委員協議会
定期総会 (監査委員)
- 27日 全国町村議会議長・副議長研修会
(議長・副議長)
- 30日 議会運営委員会・広報編集委員会

5月

- 1日 八郎潟町芸術文化協会芸術文化表彰式
(議長)
- 2日 八郎潟町スポーツ協会理事会・評議委員会
(議長)
- 8日 南秋田郡町村議会議長連絡協議会定期
総会 (議長)

6月

- 3日 議会全員協議会
- 9日 議会定例会 (12日まで)
- 15日 関東地区八郎潟町ふるさと会総会(議長)
- 18日 例月出納検査 (監査委員)
- 25日 議会広報編集委員会

◆議会広報編集委員会

- 委員長 野原 静雄
- 副委員長 小柳 鉄秀
- 委員 小野 千春
- 伊藤 章
- 松田真寿美
- 柳田裕平

5月は運動会や体育祭を拝見する機会となった。八郎潟小学校では、徒競走やリレー・台風の目など様々な競技が行われた。新1年生(15人)も元気いっぱい笑顔で頑張っていました。中学校体育祭では、各種競技や全員リレー、特に学年ごとに行われた応援合戦は迫力があり一人ひとりの呼吸が合って素晴らしい団結力でした。3年生にとってはこれからの勝負です。この絆を忘れず、最後まで諦めず全力で頑張ってください。子どもたちから元気をもたらした日々でした。

私たち議員も、予算執行にあたり両輪としてのチェック機能を十分に果たしながら、町事業に対し緊張感をもって頑張ります。

(小柳鉄秀)

編集後記